

| | |
|---------|--|
| 氏名 | 池田 智香子 |
| 授与した学位 | 博士 |
| 専攻分野の名称 | 医学 |
| 学位授与番号 | 博甲第 5400 号 |
| 学位授与の日付 | 平成 28 年 9 月 30 日 |
| 学位授与の要件 | 医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当) |

| | |
|--------|--|
| 学位論文題目 | The Relationship Between Development of Neuronal and Astrocytic Tau Pathologies in Subcortical Nuclei and Progression of Argyrophilic Grain Disease (皮質下諸核の神経細胞性及びアストロサイト性のタウ病理の出現と嗜銀顆粒病の進行との関連性) |
|--------|--|

| | |
|--------|-----------------------------|
| 論文審査委員 | 教授 浅沼 幹人 教授 柳井 広之 准教授 大内田 守 |
|--------|-----------------------------|

学位論文内容の要旨

進行性核上性麻痺 (PSP) には嗜銀顆粒病 (AGD) が合併しやすいが、AGD における軽度 PSP 病変の頻度は不明である。我々は AGD における軽度 PSP 病理の頻度と意義を明らかにするため、PSP 病理診断基準を満たさない AGD19 例、病理学的 PSP9 例、対照 20 例の前頭葉と皮質下諸核における神経原線維変化 (NFT) 及び tufted astrocyte (TA) を検討した。AGD19 例の中から Gallyas 陽性タウ陽性 TA と Gallyas 陰性タウ陽性で TA 類似のアストロサイト内封入体 (TAI) を認める 5 例 (26.3%) と TAI のみ認める 6 例 (31.6%) が見いだされたため、この 11 例を AGD-TA 群とし、TA や TAI を欠く 8 例を改めて AGD 群とした。検討部位の NFT 量は対照群、AGD 群、AGD-TA 群、PSP 群の順に多く、対照群と他の群の間には有意差があった。AGD 群と AGD-TA 群を合せた解析では皮質下諸核の NFT 量、タウ陽性アストロサイト病変量、AGD stage の間に有意な正相関を認めた。タウイムノプロットでは PSP に特徴的な 68, 64, 33kDa のバンドを AGD 例や AGD-TA 例でも認めた。以上から AGD の進行は PSP に特徴的な前頭葉や皮質下諸核のタウ病理出現に関係すると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、嗜銀顆粒病 (AGD) におけるグレインの進行と進行性核上性麻痺 (PSP) で特徴的な tufted astrocyte などのアストロサイト性タウ病理の皮質下諸核での出現と分布の関係について検討したものである。AGD の進行は前頭葉や皮質下諸核でのタウ病理出現と相関していることを明らかにした。これは AGD でのグレインの進行が PSP 病変の出現と高度化に関係する可能性を示しており、AGD の病態を理解する上で価値のある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。